

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	22986
事業名	資源物リサイクル事業費					
評価担当課	所 属	環)環境事業部 循環型社会推進			電話番号	011-211-2928
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	ごみの減量・資源循環を進めるため、平成10年10月からびん・缶・ペットボトルの分別収集が開始された。その後、平成12年4月から容器包装リサイクル法が全面施行されたことを受け、同年7月より容器包装プラスチックの分別収集が開始された。
	事業内容(何を実施し)	①本市が分別収集したびん・缶・ペットボトルの選別業務を実施する ②選別したびん・ペットボトル及びプラスチック選別センターで選別したプラスチック製容器包装を、指定法人を通じて再商品化事業者へ引き渡す ③選別した缶を再資源化事業者へ売却する ④製品プラスチックの回収に向けた検討を行うためのモデル事業を実施する
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	一般廃棄物の減量及び資源の適正な再商品化を図る
	他都市の状況	容器包装リサイクル法に基づく分別収集を行っている多くの市町村では同様の業務を実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	903,570 千円	うち特定財源	903,570 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度予算額	910,000 千円	うち特定財源	865,415 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度決算額	891,935 千円	うち特定財源	891,935 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和6年度予算額	913,630 千円	うち特定財源	830,324 千円	正規職員業務量	0.4 人工

指標	アウトプット活動指標1	びん・缶・ペットボトル選別処理量(t)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		34,617t	33,848t	33,057t	32,188t	30,769t	30,769t
	↓						
	アウトカム成果指標1	ペットボトル品質評価				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		中沼:A、駒岡:A	中沼:A、駒岡:A	中沼:A、駒岡:A	中沼:A、駒岡:A	中沼:A、駒岡:A	中沼:A、駒岡:A
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	びん・缶・ペットボトルの処理量については、年によって若干の変動はあるものの毎年同程度の水準を維持できている。品質についても、指定法人の要求する基準をクリアし続けている。					
	アウトプット活動指標2	プラ製容器包装選別処理量(t)				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		31,234t	30,998t	30,217t	29,774t	27,613t	27,613t
	↓						
	アウトカム成果指標2	びん・ペットボトル及びプラ製容器包装再商品化量(t)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		47,333t	46,507t	46,018t	45,259t	44,939t	44,939t
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	プラの処理量及び各品目の再商品化量についても、年によって若干の変動はあるものの毎年同程度の水準を維持できている。					

今年度の見直し内容	容器包装プラスチックに混入されるリチウムイオン電池が問題となっていることから、適正排出に向け啓発チラシの全戸配布を行った。
来年度以降の方向性	引き続き資源物の適切な選別及び引渡しを実施するとともに、リチウムイオン電池内蔵製品等の混入防止に向けた周知啓発や対策の検討を行っていく。